

平成29年度 第2回中津川市立図書館協議会 議事録（要約）

時：平成30年3月13日(火) 15:30～
於：図書館 2階学習室

出席者（15名）

■委員（9名）

小木曾寛美、牧野なゆみ、牧野楓、桑澤芳江、杉本崇、黒田ところ、林みさ子、須栗大、近藤信幸

■事務局（文化スポーツ部 6名）

文化スポーツ部長 大巾 裕之

図書館長 二村英文、館長補佐 原益彦、係長 鷹見朋子、主任主査 金子京子
主任 戸谷朱里（記録）

1 開会 委員の紹介

2 あいさつ 協議会会長 文化スポーツ部長

3 【報告事項】

（1）「平成30年度文化スポーツ部の方針と重点」について

部 長：（資料 報告1の概要説明）

図書館長：（資料 報告1の重点 説明）

（2）「平成30年度図書館予算案」について

会 長：予算も続けて報告してください。

図書館長：（資料 報告2 説明）

会 長：ありがとうございます。それでは、方針、予算どちらでもけっこうですので、ご意見のある方はお願いします。

委 員：予算のことで確認ですが、嘱託職員の数は現在も11名ですか？

図書館長：現在も11名です。平成30年度も変わりありません。

委 員：ありがとうございます。もう一つ確認です。雑誌のスポンサー制度のことですが、どのように推移していますか？

図書館長：平成29年度は変わりなく、雑誌のスポンサーは現在13業者で、雑誌数は31誌です。もっとたくさんの業者さんにスポンサーになっていただけるよう、営業活動を頑張っていきたいと思っています。

委 員：このスポンサー制度を利用している図書館が増えているようですね。雑誌以外の所に予算を回せるようにもっと積極的にPRをしてください。もう一つ、付知公民館が指定管理になる関係でその分の予算を削減できたとの説明でしたが、指定管理になった結果、使い勝手が悪くなった、というような利用者からの声はありませんか？

図書館長：今のところ入っておりませんし、指定管理になったからといってこれま

での関係性を崩すことはないように、今まで通りのやり方でやって行くというのが方針であります。指定管理とは別団体が運営していくということですので、予算的な面でこちらから指示をしたり事務的な面で指示をしたりという事はできません。しかし、図書館の運営方針は変えないように伝えてあります。

部 長：逆に福岡公民館図書室なんかは指定管理になって、非常に工夫して運営をしてくれています。敷物をしいて、お母さんたちと子どもたちがくつろぎながら本が読めるスペースを作ったりしています。

委 員：そうですね。前回、見せていただいた通りですね。指定管理だからといってすべてお任せするのではなくて、図書館側としても様々な情報を提供したり、チェックしたりすることが大切だと考えます。必要であれば、協議会から視察という形で指定管理先へ伺うことも可能です。

図 書 館 長：第1回図書館協議会のときに福岡公民館図書室へ伺った時に、公民館長さんから非常に前向きなお話をいただいておりますし、継続して行けるように努力することが大事と考えます。

委 員：ぜひ、お願いします。それが最終的に、読書活動の環境整備に繋がっていくと思います。

会 長：資料購入費はいくらですか？

図 書 館 長：平成30年度の図書費は11,930,000円です。中央館が8,730,000円、済美図書館が1,000,000円、公民館図書室が4館で2,200,000円です。

会 長：先ほど書誌データの購入先の変更で減額したという話がありましたが、入札で減ったという事ですか？

館 長：いえ。書誌データを自分たちで打ち込まずに購入しているのですが、平成28年度末まで購入していた業者が、図書館に関する業務をやめてしまったので、新たな業者を探したところ、2つ候補があったのですが、価格が全然違ったので、入札は行わずに安い方に決めました。予算が減ったというのは、前の業者より安くできているということもありますし、契約の前段階で見積もりを取って予算を組んだのですが、契約時にさらに精査して必要のないところを削って、交渉して減らした結果です。

会 長：わかりました。ほかにありますか？

委 員：方針の中の「学び続ける生涯学習社会」にもありますように、これからますます高齢化が進んでいく中、図書館の高齢者向け資料として大活字本が蔵書として増えてきているな、と感じているところですが、予算の中で高齢者向け資料購入費というような別で予算を用意することはないのでしょうか。

館 長：特に高齢化を意識して予算を取っているわけではありませんが、図書購入費の中で枠を別で設けて、大活字本をもう少し購入しよう、ということはありません。

委 員：大きな問題になってしまうかもしれないのですが、高齢化に向けての図書館のあり方も考えていただきたいと思います。高齢者が来て、本を読むだけでなく少し会話ができるようなスペースがあるといいな、と思うのですが、高齢者は耳が遠いので大きな声になりがちです。他の人からはうるさいな、と思われてしまいますので、少し囲いのあるスペースなどあるといいですが、今の図書館では狭いので難しいところだとは思

ます…。この限られた予算の中で、少し工夫してスペースづくりの方も進めていただければと思います。子ども読書推進も大切ですが、高齢者のことも考えていただきたいです。

委員：録音図書的一般利用者への貸出等についてですが、要綱等は整備されましたか？

図書館長：昨年10月に要綱を整備しまして、はじめています。これまでは身障者手帳がないと貸し出しはできなかったわけですが、今は「視覚による表現の認識が困難な方」というように、利用の制限が緩やかになっております。ただ、まだまだ広報が足りないという事もあり、実際に利用はされておらず、これから、というところでもあります。

委員：音訳ボランティアのさざなみ会さんに頑張って作っていただいている資料ですので、多くの人に周知して、利用できる方が増えるよう、来年の重点目標とも絡めて進めて行っていただきたいと思います。

図書館長：はい。

(3) 子ども読書活動推進計画進捗評価について

金子：(資料1、2、3 説明)

会長：大変たくさんの事業を行っているの確認するだけでも大変ですが、何かご意見等ありましたらお願いします。毎年見るだけで大変だな、というところですが、相当数実績が上がってきているなあということがわかります。総括表を見ますと、完了した事業が4、継続が216、未着手が5でして、著しい成果が見られるものが92、成果が見られるが104、一部見直し改善が29ということで、いよいよここまで来たな、というところでもあります。この後の協議事項にも関係してくるのですが、第1次子ども読書活動推進計画には膨大な数の事業を載せたという事がありまして、取りまとめをしていただく方も大変ですし、実施していただく方も大変だったと思います。関係する団体、機関に浸透したかどうか、というところもありますが、このあたり館長さんはどう感じますか？

図書館長：印象ですが、計画自体はしっかり練り込まれて作られているのですが、実施計画の段階で各関係団体や機関の思いがあって、網羅的に事業をピックアップしていますので、正直、大変だったかなと思います。図書館目線でやっているものが多いですので、5年間の評価を参考にしながら、現場も見ながら、整理して、体系的にまとめやすい形にしていくことが大事かな、と考えます。

会長：ありがとうございます。どうでしょうか、みなさん。学校からはどうですか？

委員：学校現場の色々なところで配本等大変お世話になっております。調べ学習等で本が足りない、ということが解消されて助かっています。学校司書さんを通じて、というところが大きいと思います。しかし、将来的には子どもたちが自分で図書館に通えるようになることが大事とも考えています。学校教育の中では読まされている、という部分もあるので、市立図書館が学校教育に協力して下さっているその先を、どうしていくのかというのが学校現場の課題だな、と感じます。子どもと図書館が直

接つながら機会を考えていかなければと思っています。

図 書 館 長：ありがとうございます。今、小学校 2 年生の単元で図書館へ見学に来ていただいている学校が多いですが、以前、見学に来られた学校の担任の先生から、館長の写真を撮らせてほしいということがありました。あまりないことなのでどうしてか尋ねたところ、図書館にはこういう館長がいたよねと後でわかるように、人と人とのつながりを大事にしたいので、ということで撮らせてほしいということでした。子どもたちと中津川市立図書館を結びつけるためのご指導だったのかなと感じます。

会 長：他にはありますか？

委 員：坂本と落合の読み聞かせ団体の支援が一部見直し要改善となっていますが、坂本の方は人口も増えてきているところで達成できそうな印象ですが、なぜなのでしょう？

図 書 館 長：細かい分析は必要ですが、ボランティアさんの養成に繋がってなくて達成できていないということかもしれません。

委 員：坂本にははなのきセンターという児童センターがあって、その中にも図書室があります。乳幼児学級ははなのきセンターの図書室で行われるのですが、そこでは読み聞かせをしています。坂本の図書コーナーではやってなくて、はなのきセンターでやっているということがあると思います。

図 書 館 長：さらに坂本にはあぶくたったの会という団体がありますが、坂本の図書コーナーではなく、保育園や幼稚園で読み聞かせをしているということもあります。

金 子：(資料 1 一部訂正、9 ページ 19 取り組み有、◎に変更)

会 長：平成 28 年度末の評価についてはこれでよろしいですか？

(承 認)

会 長：ご承認いただいたという事で、ありがとうございました。

4 【協議事項】

議題 1 子ども読書活動推進計画の成果と課題について

金 子：(資料 4 説明)

会 長：質問等していただきながら理解をして頂ければと思いますが、いかがでしょうか？

委 員：データの分析というところで、指標については何か他のものと比べるようなことはしているのでしょうか。例えば、資料 1 5 ページ 13 番の「児童・生徒の市立図書館・公民館図書室の利用と活用を推進」というところで事業内容が、「図書館だよりの掲示、市立図書館・公民館図書室からの情報の提供」となっていて、結果が「著しい成果がある」となっていますが、すべての学校へ図書館だよりが掲示されたことに対して「著しい成果がある」ということなのか、子どもたちが市立図書館を利用するようになったことが「著しい成果がある」なのか…。

図 書 館 長：推進の度合いを数値化することはなかなか難しいところではあるのですが、なるべく数値化していきたいところではあります。

委 員：難しいのですけどね。利用促進を図るのに、図書館だよりの掲示はちょっと違うのかなと思います。

- 図書館長：貸出数とかは数値化がしやすいところではあるのですが。図書館業界全体を見ても、統計が弱いところがあります。
- 委員：大学だと、学生の成績と貸出冊数の分析、とかしますが、そういうデータもありませんものね。
- 図書館長：学力と読書量、図書館の利用が関係あるのかもしれないな、というのは気になる場所ですけども…。
- 委員：利用者が増えるというところで、ある人が延べ人数として増えているのか、新規の人が来ているのかも数値化ができるといいと思いますが…。
- 委員：配本していただく冊数について、冊数が増えることは目的ではなくて、学校にとっては手段でしかなくて、それは市立図書館の目的なのですよね。その先は、学校の課題なのです。学校では子どもたちに借りる本の冊数を目標立てさせることもあるのですが、借りたところで読んでいるかは別問題ですし、子どもの読書力が上がっていかないという現状もあります。調べ学習も、図書資料でなかなか調べられないという事があり、手っ取り早くパソコン室に連れて行く事もあります。学力状況調査とその子の読書量と調べてみれば相関関係はあるのだと思います。しかし、なかなかそこを数値的に表すことは難しいので、担任の印象や手ごたえが評価になってしまうところがあります。
- 会長：国や県が進めてきた「子ども読書推進計画」ですが、中津川市の場合は新図書館を作る、という事もあり、できるだけ広範囲に作られた計画のために、私たちもやりながら考えていったところがあります。今、先生方がおっしゃられたように専門家に分析してもらうことが必要だと感じます。来年度アンケートをやるというところに活かしていけたらと思います。せっかく新しく始めたところで、見直さなければならぬとなりますので。
- 原委員：前回のアンケートをご覧ください。
- 図書館長：学校で配っていますか？
- 図書館長：全校ではありませんが、抽出して配っています。
- 会長委員：中京学院大学の力を借りて、分析できるといいですね。
- 委員：そうですね。図書館だとそういった分析にお金をかけるよりも、やっぱり資料費に当てたいですよね。
- 委員：でも、数値化することで、市民の皆さんに何かしら図書館の現状を知ってもらえますよね。
- 会長委員：広報することで、図書館に来てもらう、知ってもらうというアピールのねらいもあり、大事ですね。
- 委員：他によろしいですか？
- 委員：数値化の話から離れますが、ボランティアの養成をこれだけしたということで、それで今現在、どれだけの人が活動されているのでしょうか。
- 図書館長：数値として出していませんが、だいたいやっている人は固まってきているという事があります。
- 委員：課題としてボランティアの活動場所の整備、機会の提供、読み聞かせサークルの立ち上げ、と書かれていますね。ずっと気になっているのが、読み聞かせボランティアさんの配置の事です。耳にしたのが、「この日に行きたいけれど、行くと邪魔みたいな感じだった」とか「来てほし

いときに来てもらえなかった」とかというものです。コーディネーターさんが配置をしてくださっているのですよね。

図書館長：そうです。ただ、コーディネーターが課題として挙げているのが、既存のグループに新たな人が入るといことは難しさがあるということです。単純な話ではないですね。

委員：やりたいな、と思っているのになかなか受け入れられなくて、最近は行かなくなってしまうという話も聞いています。養成講座を修了した人が活躍できるような土台を作っていて、せっかくやる気になった人が活動できるように工夫していただきたいと思います。

図書館長：養成講座を受けてくださった方が活動できるように工夫を続けてまいります。

委員：時々「読み聞かせボランティア募集」ということでメールが流れてくるのですが、3歳児健診のような単独で参加可能な読み聞かせがもし年間計画で決まっているのであれば、事前にメールいただくと参加しやすいのではないのでしょうか？どの団体にも属さず個人で活動する人の場づくりを工夫して行ってほしいです。

委員：一覧表にして館内に貼るのでもいいかもしれませんね。

委員：そこで輪が広がって行く事も考えられますね。

委員：まずは3歳児健診から始めるといいと思います。3歳児健診の読み聞かせに行ったことがあります。来た子に読み聞かせを随時していくという形なので、一人で活動する人に向いていると思います。

委員：個人で活動する人と団体に属して活動する人で活動の場の住み分けをするといいと思います。

会長：きめ細かく配置をすることは大変ですよね。

図書館長：やってもらう側の思いもやる側の思いもそれぞれありますので、大変ではあるのですが、それはそれとして、目配りはしていかなければならないので、引き続きいろいろ工夫してやっていかなければいけないな、と感じております。

会長：時間も押してきております。事務局から実施計画の問題点として10項目あったのですが、だいたいこの項目について、そしてアンケートの結果を踏まえて、取りまとめていくという事でよろしいでしょうか。

図書館長：計画そのものはかなり練り込んで作られているわけですが、実際にやる実施計画のところでここに挙がっている10項目が問題点であると考えています。

会長：たとえば単純に、成果が見られる104件と一部見直しの29件、この29件が今後の課題だと見ていくのか、それともさらに新しいものも入れながら考えていくのかということでもあります。著しい成果が見られるということは達成したということにしたいのですが、ただ、こういった事業は継続が大切ですので、難しいところですけど、まだ、達成できていない部分を重点的にやっていく、ということも大切だと思いますので、そのあたりを議論してもらえるといいかな、と考えます。
スケジュールはどうなっていますか。

図書館長：まだしっかりとスケジュールは立てられていません。まずはアンケートを作るところからです。

会 長：前回と同じような形で持っていきたいということですね。いずれにせよ、事業数は絞った方がよさそうですね。高等学校は参考としてはいいですが、ご無礼な部分もありますね。

図書館 長：そうですね。

会 長：他にありますか？

委 員：アンケートを取る際に、読み聞かせサークルだけでなく、児童館にも声をかけると実態がつかめてよいと思います。

会 長：それでは、まとめに入ります。来年度以降の新たな読書推進計画については、事務局で立ててもらったスケジュールに基づいて行なうということで、项目的なことについては議論させていただくということでしょうか。

(承 認)

5 【その他】

会 長：それでは、その他何かありましたらお願いします。

委 員：今年度の入館者数を教えてください。

図書館 長：16 万人ほどですが、後ほど正しい数をお伝えします。(補足：162,874 人)

原 長：平成 23 年度に出したアンケートについて、9 月からはじめると、スケジュール的にタイトになってしまいます。次回の協議会が早く 7 月開催でして、それまでに早めにアンケートの中身を固めたいと考えております。アンケートの中身につきまして、関わっていただきたいですので、よろしくお願ひいたします。

会 長：また事務局のほうで連絡等よろしくお願ひします。任期は 5 月までですね？

図書館 長：5 月までです。

会 長：よろしくお願ひします。

委 員：いつも同じ話ばかりしてしまって申し訳ないのですが、取り壊された駐車場の件です。あの土地は市で取得したのですか？

部 長：市で取得しました。

委 員：そうしましたら、そこを駐車場にすることはできますか？

部 長：市の方針を踏まえて検討中です。交渉はしています。

委 員：図書館に近いので、あそこが駐車場にならないかなあと通るたびに話しているのです。お願ひします。

会 長：整地してありましたっけ？

委 員：整地してあって、あとはアスファルトでもひいたら使えそうです。広くて、何台くらいとめられるかしら…。

会 長：他にありますか？

委 員：大学生の立場からの案なのですが、図書館の中でお話ができる場所ができたらいと思います。ビブリオバトルや、ちょっとした会議などができる場所を設けている大学があるので、そういった場所があるといいのかなあとと思います。それと、学習室の監視カメラの件ですが、何か今までにトラブルなどはありましたか？

図書館長：おっしゃられたとおり学習室に防犯カメラをつけていまして、何かあったときはその映像を見るということ是可以するのですが、あくまで防犯のためにつけています。犯罪を抑止する効果があるのかはわかりませんが、ここ2～3年は何かトラブルといった問題はおきていません。

委員：防犯ブザーを貸出している大学があって、防犯ブザーを貸し出すというのもいい案だと考えます。学習室の番号札を渡す際に、「防犯ブザーを使われますか？」と聞いて渡すというのはどうかなあとと思います。一案です。

図書館長：ありがとうございます。

会長：それでは、年度末の大変忙しい時期にお集まりいただきまして、ありがとうございました。これにて協議会を終了いたします。

6 閉会（図書館長）